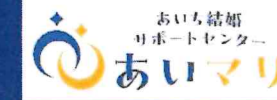


愛知県トピックス

※最新の情報は愛知県および愛知県議会ホームページで
ご確認ください。
愛知県検索 愛知県議会検索

愛知県が「婚活」を応援！ あいち結婚サポートセンター（愛称：あいマリ）



愛知県は結婚を希望する独身の方の出会いから成婚までをサポートする、オンライン型の結婚支援センター「あいマリ」を開設しています。気になる方は、ぜひサイトをご覧ください。

- POINT1 専門の相談員による伴奏型支援があります。
POINT2 AIを活用したマッチングシステムです。
POINT3 センターは無料で利用できます。



あいち結婚サポートセンター あいマリ
TEL 052-898-4224



「子ども・子育て対策特別委員会」では、京都府の「子育て環境日本一」に向けた世代ごとの取組を調査しました。

京都府が設置・運営する「京都婚活支援センター」は10年の歴史があり、マッチングシステムや各種イベントで出会いを応援しています。

愛知県も「あいマリ」を開設して1年が経ち、利用者が増えています。



あいち県政レポート 2025年 秋の号

あ い ち 民 主 県 議 団

愛知県議会議員

（名古屋市昭和区選出）

谷口ともみ

＜編集・発行＞ 谷口ともみ事務所 名古屋市昭和区御器所通 1-19

愛知の今、そして未来に向けた情報をお届けします。
県政へのご意見や本紙へのご感想などをお寄せください。



座右の銘は「無用の用」「一つ一つ」

シマも大いに役に立つ！ ～ノーベル賞・イグノーベル賞～

愛知県ゆかりの方がノーベル賞を受賞されました。現在、自然科学研究機構分子科学研究所（岡崎市）の研究顧問の北川進氏は「金属有機構造体（MOF（モフ））」でノーベル化学賞を受賞され、元愛知県がんセンター研究所の研究生、坂口志文氏は「制御性T細胞発見」で、ノーベル生理学・医学賞を受賞されました。北川氏、坂口氏のそれぞれの座右の銘は、「無用の（の）用」（一見無駄なものにも価値がある）と、「一つ一つ」だそうです。

お二方とも、揺るぎない信念をもって、長年研究を続けてみえたことが、この度のノーベル賞に結実しました。

さらに、愛知県農業総合試験場で働いてみえた児嶋朋貴さんのグループが、「イグノーベル賞」を受賞されました。

「イグノーベル賞」とは、人々を笑わせ、考えさせるユニークな研究に送られるもので、受賞したのは、黒牛に白いスプレー



写真提供：
愛知県農業総合試験場

でシマを描くと、近寄ってくる吸血昆虫が減るという研究です。「牛」に「シマ」という革新的な組み合わせを生むまでも、粘り強い取り組みがあったそうです。

名古屋市科学館には、愛知県と名古屋市が協同で開設した「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」があり、8名のノーベル賞受賞者の業績が分かりやすく展示されています。

名古屋市科学館 HP ⇒⇒⇒
「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」の展示ガイドはこちらから



愛知県議会議員

谷口ともみ

令和7年度の「あいち民主県議団」

令和7年度の施策及び補正予算に係る要望を知事に提出しました。物価が高どまったままの現状を踏まえ、今回は特に現役・若者世代が将来に希望をもって暮らすことができる施策の充実を求めました。

- 主食であるコメの安定供給への支援強化
- 県立高校の魅力向上
- ヤングビジョン@Aichiの具現化



■谷口ともみ プロフィール■ 1963年生 / 千種高等学校・愛知教育大学を卒業後、名古屋市立中学校教員に（白山中→香流中→日比津中→萩山中）。在職中、愛知県教員組合女性部長・連合愛知副会長を務める。2007年愛知県議会議員に初当選。現在5期目。あいち民主県議団「子ども・若者議連」会長・「健康と食議連」事務局長。2025年度 農林水産委員会委員・子ども・子育て対策特別委員会委員、立憲民主党愛知県総支部連合会代表代理



ともみスナッフ



各種ご相談・ご意見・お申込み・県政レポート等については、【谷口ともみ事務所】へお願いします。HP、QRコードからもご連絡いただけます。

京都冬の旅 特別公開 秀吉とねねの寺「高台寺」へ 初詣バスツアー 令和8年1月18日（日）

2026年の大河ドラマは「豊臣兄弟」。豊臣秀吉の正室である北政所（ねね）が秀吉の冥福を祈るため建立した広大な境内の高台寺と、京都冬の旅での特別公開を拝観します。ぜひ皆様でご参加ください。

- ☆ 令和8年1月18日（日）バス乗車 区内各所 7時頃
- ☆ 参加費 12,000円
- ☆ 京都伏見稲荷・清水順正おかべ家（昼食）・高台寺へ
- ☆ 申込〆切 令和7年12月24日 QRコードからもお申込みいただけます⇒



谷口ともみ
事務所

〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通 1-19
TEL (052)741-1031 FAX (052)741-1081 メール tomomin@ruby.plala.or.jp
各種振込先「谷口ともみ後援会」 ◆三菱UFJ銀行 滝子支店 普通 0035044
◆郵便局 店名：二一八店番：218 普通預金 6581366



初詣バス申込み

ふりがな お名前・年齢	(歳)	電話/FAX 番号
同居のご参加者 お名前・年齢	(歳)	メール アドレス
ご住所	棟 号室	

開催テーマ「灰と薔薇のあいまに」



瀬戸市まちなか
旧日本鉱泉
の作品

国際芸術祭「あいち 2025」

繁栄と破壊、希望と絶望の「あいま」に立ち、現代アートを通して、人間と環境の関係について幅のある考えを示したいという、フル・アル・カシミ芸術監督の思いが込められた芸術祭が開催されています。愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなかで11月30日まで。

米国による関税措置への対応

「愛知県米国関税対策本部」を立ち上げて対応を進めています。8月には県内中小・中堅企業等10,000社を対象に実態・影響調査を行いました。その結果を踏まえ、価格転嫁、取引適正化の推進や情報提供の強化、「緊急対策パッケージ」に位置付けた支援を実施していきます。

パーキング・パーミット制度開始

障害のある方を始め、多くの方が来県するアジア・アジアパラ競技大会に向けて、パーキング・パーミット制度の準備を進めます。障害などで歩行が困難な方を対象に、専用の駐車区画を利用できる利用証を交付する制度で、対象者の明確化と適正利用を図るものです。2026年6月から始まります。



愛知県議会ホームページリニューアル

デザインを刷新。さらに、スマートフォンやタブレットにからも見やすくなりました。ぜひ議会の取組や様子をご覧ください。県議会の制度や会議録、キッズページなど、内容満載です。



9月議会(9月22日~10月15日) 主な内容

《補正予算の主な内容》～一般会計186億8,749万円余、特別会計8,800万円を増額補正

- パーキング・パーミット制度の開始に向けた準備を進めます。
- 県営都市公園大高緑地(名古屋市緑区)の将来構想を検討します。
～1963年に開園し、半世紀以上にわたって親しまれてきた大高緑地の新たな魅力づくりをめざします。

《国への意見書》 あいち民主県議団からは、「地方財政の充実・強化」「ウナギのワシントン条約附属書への掲載提案に対する適切な対応」を国に求める意見書を提出しました。

うなぎ危機 迫る！



ワシントン条約第20回締約国会議で、二ホンウナギを含むウナギ属全種を、野生動植物の国際取引を規制する附属書Ⅱの対象とする提案がされています。愛知県は全国2位を誇るウナギの生産地として、その影響を懸念しています。現在、天然ウナギの資源保護や人工種苗量産化の技術開発に取り組んでおり、過度な規制を避けるよう、最大限の外交努力を国に求めます。

《あいち民主県議団員の主な本会議場質問》

- 代表質問 朝倉浩一議員(半田市)はアジア・アジアパラ競技会の機運醸成や結婚支援等について、愛知県の取り組みを質しました。
- 一般質問 長良川河口堰の最適運用(高木ひろし議員)、オーバードーズ防止策(長江正成議員)、奨学金返還支援制度の拡充(日比たけまさ議員)、技能伝承体制の強化(島孝則議員)、ウナギの食文化と養鰻業を守る取組(藤原聖議員)、南海トラフ地震に備えた住宅耐震化(阿部洋祐議員)等について質問をし、皆様の生活に寄り添う施策の充実を求めました。

8万人減少！ 愛知県の子ども

2024年の愛知県の出生数は45,515人でした。1973年のピーク時の125,395人から約8万人、64%減少し、合計特殊出生率も1.22に。

代表質問では、愛知県として結婚支援を始めとする少子化対策の取組を強化していくとの答弁がありました。少子化を踏まえた取組みも必要になってきます。



家畜を酷暑から守って！ 9月議会質問

大変な暑さの夏でした。谷口ともみは委員会で「家畜の暑熱対策」について質問しました。

愛知県は生産額全国11位の酪農県であり、家畜業者は、散水や換気扇の設置などで、暑さに弱い牛・豚・鶏を守る努力をしています。

しかし食欲不振による発育不良、乳量の減少や受胎率の低下が見られたという影響があったとのことでした。

愛知県は、「国に対して、全畜種を対象とした暑熱対策事業の創設を働きかけていく。」「通常のホルスタインより毛が短く熱さに強い乳用牛「スリック牛」を希望する畜産農家に種畜供給することなどを検討していく。」と答弁しました。

家畜の暑熱対策が国とともに進むことが期待されます。



スリック牛
～株式会社野澤組のブルブックより

高齢化する愛知の森林 愛知の「木づかい」を

愛知県の総土地面積のうち約42%が森林(国有林+民有林)です。しかし、その森林のうち人工林の多くが標準伐期齢を超え、森林の高齢化が進んでいますが、適切な伐採と再造林が進められていません。

そこで愛知県は、現在、「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業を推進しています。

委員会で調査した「愛知県 森林・林業技術センター(新城市)」では、林業従事者の育成とともに、循環型林業を進めるため、植栽木の選択肢の1つとなるよう、20年～40年という短期で木材となる早生樹(センダン)や、成長が早く花粉の飛散が少ないエリートツリー(スギ・ヒノキ)を育成し、普及に取り組んでいます。

愛知県産材の利用促進に向けては、「あいち木づかいブックや「あいちの木材利用施設事例集」が作成されています。

ぜひ愛知の木をご活用ください。



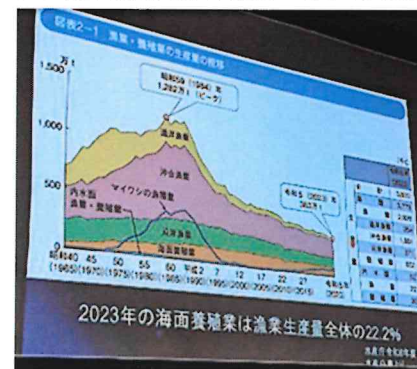
センターでの林業従事者
研修の様子

県外調査 近畿大学水産研究所 富山実験場 他

愛知県内でも進められている陸上養殖について、近畿大学水産研究所 富山実験場で、近年の取り組みを調査しました。

EPAやDHAを豊富に含んだ魚を食べると、血圧低下などの成人病の予防や脳の老化を抑制することが知られていますが、2010年前後を境に、日本人の一人当たり摂取量が魚介類よりも肉類の方が多くなっています。

また、1984年をピークに、漁業・養殖業の生産量は、減少し続け、養殖業の割合が増えています。



グラフの
黄色・ピンク・緑は
海面漁獲。
オレンジ以下は養
殖業。

陸上養殖を成功させるカギとしては、地域の特性を活かすことが必要であるとともに、短期間で成長して出荷できる単価の高い魚を養殖することと、低いランニングコストを維持することが重要だそうです。

実験場では被災を乗り越え、ノドグロやマアナゴが元気に泳いでいました。



県外調査では他にも木材バイオマスの活用に取り組む「株式会社小松製作所栗津工場」やスマート農業を推進する「株式会社 林農産」などに出向きました。



富山実験場は能登半島地震では水槽の底が割れ、水が抜けて養殖業に大きな被害があったそうですが、現在は、「ノドグロ」「マアナゴ」を養殖中です。

